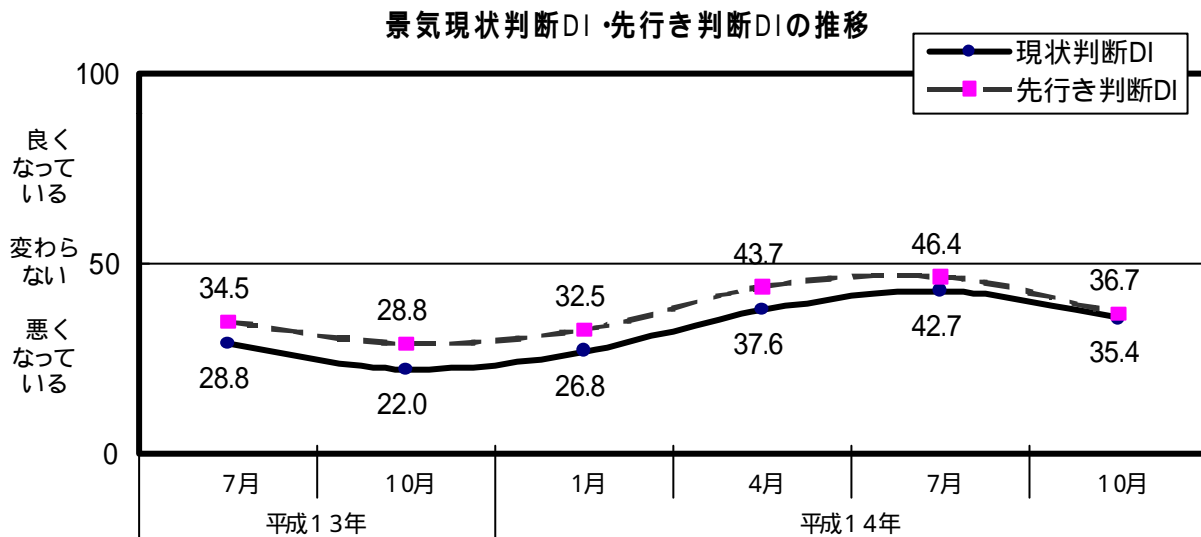


# 青森県景気ウォッチャー調査 (平成14年10月期)

調査期間 平成14年10月1日～22日 回答率 9.7%

## 概況

10月期は、現状判断DI・先行き判断DIとも4期ぶりにポイントが減少し、横ばいを示す50を依然として下回っている。



平成13年7月は試行調査

平成14年11月

青森県企画振興部統計情報課

## 青森県景気ウォッチャー調査について

### 1. 調査の目的

統計データには表れないきめ細かな生活実感のある情報を収集し、県内景気動向判断の基礎資料とする。

### 2. 調査の実施概要

#### (1) 調査の範囲

県内を東青地区、津軽地区、県南地区、下北地区の4地区に分け、各地域における経済活動の動向を敏感に観察できる業種の中からおよそ30業種を選定し、そこに従事する100名を調査客体とする。

#### 地域別・分野別の客体数

地区	対象地域	調査客体数			
		合計	家計	企業	雇用
東青	青森市とその周辺部	30	23	4	3
津軽	弘前市、黒石市、五所川原市とその周辺部	30	22	6	2
県南	八戸市、十和田市、三沢市とその周辺部	30	21	7	2
下北	むつ市とその周辺部	10	9	1	0
計		100	75	18	7

#### (2) 調査事項

3か月前と比べた景気の現状判断とその理由

3か月後の景気の先行き判断とその理由

(参考) 景気の水準判断

#### (3) 調査期日等

四半期に一度(1月、4月、7月、10月)実施し、翌月初旬に公表。

### 3. DIの算出方法

5段階の判断にそれぞれ以下の点数を与え、これらに各判断の構成比(%)を乗じて、DIを算出する。

評価	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
点数	1	0.75	0.5	0.25	0

(本調査についてのお問い合わせ先)

〒030-8570 青森県企画振興部統計情報課 統計情報分析・利活用グループ  
 TEL 017-734-9166(直通)又は017-722-1111(内線2179)  
 FAX 017-734-8038

## 1. 結果概要

### (1) 3か月前と比べた景気の現状判断DI

<p>県全体の動向</p> <p>前期調査と比べると、「やや悪くなっている」と答えた人が増加し、「変わらない」と並んでおよそ4割を占めたことにより、7.3ポイント減の35.4となり、引き続き横ばいを示す50を下回った。</p> <p>判断理由をみると、周囲で倒産・閉鎖が増えていることや来客数の減少、値下げ競争による利益の伸び悩みなどが挙げられていた。また、天候不順による秋物商品の売上減や農作物の不振も指摘されている。</p>
<p>分野別の動向</p> <p>前期調査に比べて、全般的に悪化している。飲食業・サービス業など家計関連が、客単価低下などにより、特に落ち込んだ。</p>
<p>地区別の動向</p> <p>前期調査に比べて、全地区で悪化しているが、県南地区では、新幹線開業効果をいくらか見込む意見もあったため、減少幅は小さかった。津軽地区は半数以上の人々が「やや悪くなっている」と回答している一方、東青地区、県南地区は「変わらない」という回答が最も多い。</p>

### (2) 3か月後の景気の先行き判断DI

<p>県全体の動向</p> <p>前期調査と比べると、「やや悪くなっている」、「悪くなっている」と答えた人の割合がそれぞれ増加し、合わせて4割を超えた(前期は2割強)ことにより、9.7ポイント減の36.7となり、引き続き横ばいを示す50を下回った。</p> <p>判断理由を見ると、株価の下落や不良債権処理を中心とした金融政策への不安・不信感を挙げる声が多かった。りんご価格の低迷、競争激化による利幅減及び倒産発生、冬の賞与減少による家計への影響なども危惧されている。</p>
<p>分野別の動向</p> <p>前期調査に比べて、全般的に悪化している。企業関連を中心に、不良債権処理による影響を懸念している。</p>
<p>地区別の動向</p> <p>前期調査に比べて、全地区で悪化している。東青地区は「変わらない」と回答している人が7割近い。津軽地区、県南地区、下北地区では、「変わらない」と「やや悪くなっている」の割合がほぼ並んでいる。</p>

## 2. 県全体の動向

### (1) 3か月前と比べた景気の現状判断

DI

n=96

	平成13年	平成14年			
	10月	1月	4月	7月	10月
合計	22.0	26.8	37.6	42.7	35.4
家計関連	24.3	30.6	38.1	41.2	34.2
小売	23.3	28.6	36.5	40.5	34.8
飲食	15.9	43.8	41.7	35.0	27.3
サービス	27.8	28.8	38.0	43.3	33.7
住宅	29.2	20.8	37.5	45.8	45.8
企業関連	6.9	11.1	36.1	45.8	36.1
雇用関連	35.7	28.6	37.5	50.0	46.4

回答別構成比(%)

	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
平成13年10月	1.0	1.0	19.2	42.4	36.4
平成14年1月	0.0	8.2	22.7	37.1	32.0
平成14年4月	1.1	7.7	45.1	33.0	13.2
平成14年7月	1.0	9.4	55.2	28.1	6.3
平成14年10月	0.0	5.2	41.7	42.7	10.4

### (2) 3か月後の景気の先行き判断

DI

n=96

	平成13年	平成14年			
	10月	1月	4月	7月	10月
合計	28.8	32.5	43.7	46.4	36.7
家計関連	29.1	32.6	42.2	46.2	36.3
小売	21.7	30.4	38.5	44.8	34.8
飲食	36.4	35.4	41.7	47.7	35.4
サービス	33.3	34.6	44.6	47.1	35.0
住宅	33.3	29.2	50.0	45.8	50.0
企業関連	23.6	27.8	47.2	45.8	33.3
雇用関連	39.3	42.9	50.0	50.0	50.0

回答別構成比(%)

	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
平成13年10月	1.0	3.0	28.3	45.5	22.2
平成14年1月	0.0	4.1	46.4	24.7	24.7
平成14年4月	0.0	9.9	61.5	22.0	6.6
平成14年7月	0.0	13.4	63.9	17.5	5.2
平成14年10月	0.0	7.3	45.8	33.3	13.5

### 3. 地区別の動向

#### (1) 3か月前と比べた景気の現状判断

##### < 東青地区 >

DI

n=30

	平成13年	平成14年			
	10月	1月	4月	7月	10月
合計	23.3	23.3	37.0	49.1	37.5
家計関連	25.0	25.0	38.8	47.6	37.0
小売	30.6	25.0	39.3	50.0	38.9
飲食	16.7	33.3	50.0	25.0	16.7
サービス	19.4	22.2	37.5	50.0	38.9
住宅	37.5	25.0	25.0	50.0	50.0
企業関連	6.3	6.3	37.5	56.3	43.8
雇用関連	33.3	33.3	25.0	50.0	33.3

#### 回答別構成比(%)

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成13年10月	0.0	0.0	23.3	46.7	30.0
平成14年1月	0.0	0.0	30.0	33.3	36.7
平成14年4月	0.0	11.1	44.4	25.9	18.5
平成14年7月	3.6	10.7	64.3	21.4	0.0
平成14年10月	0.0	3.3	53.3	33.3	10.0

##### < 津軽地区 >

DI

n=29

	平成13年	平成14年			
	10月	1月	4月	7月	10月
合計	23.3	34.5	42.3	42.5	33.6
家計関連	25.0	41.7	40.8	38.6	32.1
小売	30.6	44.4	43.8	36.1	33.3
飲食	8.3	41.7	41.7	33.3	16.7
サービス	25.0	46.4	37.5	43.8	35.7
住宅	25.0	12.5	37.5	37.5	37.5
企業関連	12.5	8.3	45.8	54.2	33.3
雇用関連	37.5	37.5	50.0	50.0	50.0

#### 回答別構成比(%)

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成13年10月	0.0	3.3	16.7	50.0	30.0
平成14年1月	0.0	20.7	20.7	34.5	24.1
平成14年4月	3.8	11.5	42.3	34.6	7.7
平成14年7月	0.0	13.3	50.0	30.0	6.7
平成14年10月	0.0	6.9	27.6	58.6	6.9

< 県南地区 >

D I

n=28

	平成13年	平成14年			
	10月	1月	4月	7月	10月
合計	18.3	22.4	34.8	39.7	36.6
家計関連	21.4	25.0	35.5	40.0	35.5
小売	11.1	15.6	34.4	34.4	34.4
飲食	16.7	66.7	33.3	50.0	37.5
サービス	35.7	17.9	33.3	39.3	32.1
住宅	25.0	25.0	50.0	50.0	50.0
企業関連	3.6	17.9	28.6	35.7	32.1
雇用関連	37.5	12.5	50.0	50.0	62.5

回答別構成比 (%)

	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
平成13年10月	3.3	0.0	13.3	33.3	50.0
平成14年1月	0.0	6.9	13.8	41.4	37.9
平成14年4月	0.0	3.6	46.4	35.7	14.3
平成14年7月	0.0	3.4	65.5	17.2	13.8
平成14年10月	0.0	3.6	50.0	35.7	10.7

< 下北地区 > (参考)

D I

n=9

	平成13年	平成14年			
	10月	1月	4月	7月	10月
合計	25.0	27.8	35.0	33.3	30.6
家計関連	28.1	31.3	36.1	34.4	28.1
小売	16.7	25.0	16.7	41.7	25.0
飲食	25.0	33.3	41.7	25.0	41.7
サービス	41.7	33.3	50.0	33.3	16.7
住宅	-	-	-	-	-
企業関連	0.0	0.0	25.0	25.0	50.0
雇用関連	-	-	-	-	-

回答別構成比 (%)

	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
平成13年10月	0.0	0.0	33.3	33.3	33.3
平成14年1月	0.0	0.0	33.3	44.4	22.2
平成14年4月	0.0	0.0	50.0	40.0	10.0
平成14年7月	0.0	11.1	11.1	77.8	0.0
平成14年10月	0.0	11.1	22.2	44.4	22.2

( 2 ) 3 か月後の景気の先行き判断

< 東青地区 >

DI

n=29

	平成13年	平成14年			
	10月	1月	4月	7月	10月
合計	28.3	30.8	42.6	48.3	37.9
家計関連	30.4	31.5	41.3	47.7	37.5
小売	25.0	19.4	46.4	50.0	36.1
飲食	50.0	41.7	25.0	41.7	33.3
サービス	27.8	38.9	43.8	46.9	37.5
住宅	37.5	37.5	37.5	50.0	50.0
企業関連	12.5	12.5	43.8	50.0	31.3
雇用関連	33.3	50.0	50.0	50.0	50.0

回答別構成比 (%)

	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
平成13年10月	0.0	3.3	23.3	56.7	16.7
平成14年1月	0.0	3.3	43.3	26.7	26.7
平成14年4月	0.0	7.4	66.7	14.8	11.1
平成14年7月	0.0	13.8	69.0	13.8	3.4
平成14年10月	0.0	0.0	69.0	13.8	17.2

< 津軽地区 >

DI

n=29

	平成13年	平成14年			
	10月	1月	4月	7月	10月
合計	35.8	39.7	46.2	45.0	37.9
家計関連	34.1	39.3	44.7	44.3	38.1
小売	33.3	41.7	34.4	41.7	38.9
飲食	41.7	41.7	50.0	41.7	50.0
サービス	34.4	42.9	54.2	50.0	32.1
住宅	25.0	12.5	50.0	37.5	37.5
企業関連	37.5	37.5	50.0	45.8	33.3
雇用関連	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0

回答別構成比 (%)

	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
平成13年10月	0.0	3.3	50.0	33.3	13.3
平成14年1月	0.0	10.3	51.7	24.1	13.8
平成14年4月	0.0	15.4	57.7	23.1	3.8
平成14年7月	0.0	6.7	70.0	20.0	3.3
平成14年10月	0.0	10.3	37.9	44.8	6.9

< 県南地区 >

D I

n=29

	平成13年	平成14年			
	10月	1月	4月	7月	10月
合計	26.7	27.6	42.9	46.6	37.1
家計関連	27.4	28.8	40.8	47.5	36.3
小売	11.1	28.1	37.5	46.9	28.1
飲食	41.7	25.0	50.0	58.3	41.7
サービス	39.3	28.6	33.3	42.9	35.7
住宅	37.5	37.5	62.5	50.0	62.5
企業関連	21.4	25.0	46.4	42.9	35.7
雇用関連	37.5	25.0	50.0	50.0	50.0

回答別構成比 (%)

	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
平成13年10月	3.3	3.3	16.7	50.0	26.7
平成14年1月	0.0	0.0	44.8	20.7	34.5
平成14年4月	0.0	10.7	53.6	32.1	3.6
平成14年7月	0.0	20.7	51.7	20.7	6.9
平成14年10月	0.0	13.8	34.5	37.9	13.8

< 下北地区 > (参考)

D I

n=9

	平成13年	平成14年			
	10月	1月	4月	7月	10月
合計	13.9	30.6	42.5	44.4	27.8
家計関連	15.6	28.1	41.7	43.8	28.1
小売	8.3	37.5	33.3	33.3	37.5
飲食	0.0	33.3	41.7	50.0	16.7
サービス	33.3	16.7	50.0	50.0	33.3
住宅	-	-	-	-	-
企業関連	0.0	50.0	50.0	50.0	25.0
雇用関連	-	-	-	-	-

回答別構成比 (%)

	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
平成13年10月	0.0	0.0	11.1	33.3	55.6
平成14年1月	0.0	0.0	44.4	33.3	22.2
平成14年4月	0.0	0.0	80.0	10.0	10.0
平成14年7月	0.0	11.1	66.7	11.1	11.1
平成14年10月	0.0	0.0	33.3	44.4	22.2



## 4. 判断理由

### (1) 景気の現状判断理由

現状	分野	地区	業種	理由		
やや良くなっている	家計	東青	観光型ホテル・旅館	7、8、9の営業状態が、3か月連続で例年より若干良いから。		
		津軽	卸売業	民間工事は少ないものの、公共工事の発注(入札)が活発になってきていると思う為。		
			観光型ホテル・旅館	3ヶ月前は過去最低でしたが、9月には言ってから少しずつ動きが見られた。		
		下北	レストラン	狂牛病、あれから1年、売上は前年比約9%の下落。低迷だった前年に比べたらよくなっている。		
変わらない	家計	東青	雇用	東南	人材派遣	企業の中で新卒採用を予定していたり、人員増加の傾向が見られる。コスト削減=人員削減ではない、ということに気が付き始めた企業が増えたように感じる。
			乗用車販売	当店での新車販売台数、整備の入庫量はそんなに変わりありません。		
			衣料専門店	経済環境がグローバル化し、情報化の進展に消費者は慣れてきた結果、今の生活リズムに違和感を感じなくなって来たから、と思います。		
			家電量販店	客数が増えない。お店にいらしても、手ぶらで帰るお客様が目につく。		
			商店街	1. 前回同様に、日常の生活費増に追われている現状です。 2. 9月は、雨など気温の急変により、夏物・秋物の品揃えが大変でした。売り上げダウンの大きい要因でした。		
			卸売業	売上等の変化が見られない。		
			一般飲食店	当店は鍋焼きうどんを始めると店が活気が出る。9月25日より鍋焼きうどんを売り出した。		
			都市型ホテル	売上げ状況も横ばい推移(同業間では、売上げ減少はやむなしとしている)。特に景気上向きの素材もなく、逆に厳しい話題が多かった。		
			観光名所等	来園しているお客様の購買意欲がなく、まだまだサイフのひもはゆるんではない。		
			旅行代理店	業界は下降の一途だが、大型店の売上げが多少持ち直しているようです。		
		設計事務所	ギリギリでどうにか体制を保っている状況に感じます。			
		住宅建設販売	お客様は長期のローンを利用する事になるので、現在の雇用不安、今後の景気が問題となっております。			
		津軽	スーパー	お客様はまわりの店舗を買い回りをし、ムダ買いをしなくなっている。		
衣料専門店	消費者の相変わらずの節約ムード。					
住宅建設販売	TV、新聞等報道が景気が悪い悪いと騒いでる割には、一般庶民は平気な顔をしてるように見受けられる。失業率が増加したり、確かに一部にそういう傾向があるだろうが、政府が余りにも冷やかでは・・・しかし、強制的に銀行に資本投入した際、自己資本比率改善の為、貸出を渋り、この影響で倒産増えるのが心配。					

変わらない

家計	県南	百貨店	八戸沼館地区に、大手玩具小売店、大手家電量販店が次々に出店して、地域間の競合が激しくなっているのが現状です。これによる影響は、少なからず当店にも出ています。これが一時的なものであれば、景気に変化はないと考えます。	
		スーパー	大多数にとって不景気感強い。心理面でも底冷え。	
		乗用車販売	車の販売台数から見ると、横ばい状態である。新型等の投入があっても、売れ行きはそんなに変わっていない。	
		レストラン	株価が下落している今、景気が良くなるとは思われない。八戸の漁業の問題にしても、県南の空気が良くない。政府の努力しだいではないかな。	
		観光型ホテル・旅館	宿泊料金が（単価）安くなっている。宴会や冷蔵庫売上等、付帯収入があい変わらず落ち込んでいる。	
		旅行代理店	取引先企業からは厳しいという声は聞かれるものの、倒産情報があまり聞かれない。	
		パチンコ	客観的であるが、売上の減少化が継続していると思われる。生活密着の事業者の新規の店舗建築が目立つように思う。	
		設計事務所	商工会議所、ロータリークラブ等で、景気の良くなっている方は無いに等しい。	
		住宅建設販売	県内でマンション建設計画の記事を見たり、具体化する例を耳にする機会が増えてきたが、景気動向と関連があるかどうか定かではない。	
			下北	一般飲食店
企業	東青	食料品製造	相変わらず景気が良いという明るい話題が聞こえなかった。	
		建設	改革、改善の必要は解っていても、それに向って大ナタを振う勇気を失った日本人。これは、ある意味で繁栄ボケからくる風土病、国民病でないか。だとしたら、生半可ではないショック療法しか無い。	
		広告・デザイン	株価の状況等。	
	津軽	食料品製造	特に良くなっているとも悪くなっているとも思わない。	
		広告・デザイン	景気は底入れという実感はしている。しかし好転に向かう兆しはなし。	
	県南	飲料品製造	酒DSのメイン商品であるビール、発泡酒の価格は、底値状態から脱することは出来ず、従来利益商材に分類されていた地酒等が、値引き販売の対象となり始めた。	
		電気機械製造	値下げ圧力が強く、新製品を受注するも、利益が全く出ない。将来的に、再投資、再生産可能な製品単価ではない。国内向け製品ですらこの状態では、日本人は物作りを自ら放棄しようとしているといつてよいほど、悪い状態だ。	
		建設	公共及び民間の発注減から、受注状況が依然として厳しい。また、工事受注時の下請要請・資材売込みが従来に増して多い。	
		下北	食料品製造	売上は若干伸びているが、利益額は昨年同期と変わらない。
	雇用	東青	人材派遣	派遣社員募集、業種的に事務系の応募者が多いが、依頼は横這い（当社は主婦パートが中心）。民間企業からの依頼は少ない。

変わらない	雇用	東青	新聞社求人 広告	本紙の広告関連売上を見ても、昨年実績を下回る傾向が続いている。これは地元企業の経費切り詰めで、宣伝費削減を打ち出しているため。不況期ほど宣伝も大切だが、余裕のある企業が依然少なくなっている。実際、小売業は売上が減り、四苦八苦している話ばかり聞く。		
		県南	新聞社求人 広告	悪いままで推移しており、底が見えない不安感が漂っている。		
やや悪くなっ ている	家計	東青	コンビニ	8月は天候も悪く、当店の売上げも伸び悩みが続いたことと、当店は国道沿いにあるが、例年に比べ県外ナンバーの来客も少なく、観光客も少ない様に思う。今年は昨年に比べ寒い。		
			百貨店	傾向として、前年割が続いている。		
			スーパー	平均単価は下落し続けているが、買上げ点数が増えない。		
			一般小売店	店舗によってはプラス（昨年比）のところもあるが、全体ではマイナス傾向。特に、路面店の落ち込みは回復していない。テナント店では、プラスの店、マイナスの店半々位。		
			美容院	お客様の中では、会社が倒産したとの声を2、3人から聞いた。仕事があるうちいいよ、と言う声がある。		
			パチンコ	お客様間の話題に新聞、テレビetc.のニュースが多く、特に同業のサービス関係の方々の不安、不満が以前より多くなったと思われる。		
			競輪場	車券売上げが減少している。		
			津軽	百貨店	極端な変化は見られないものの、購買意欲が少なくなっていると思われる。（暖かい気候の為もあるが、秋商材が不振）	
				家電量販店	来店客数、買上げ客数が右肩下がりで減っている。	
				一般小売店	前年比が、4～6月は115%だったのが、7～9月は113%とやや悪くなっている。	
				商店街	・商店街来街者が少なくなっているように感じられる。 ・売上が若干下がりぎみである。	
				一般飲食店	りんご農家の農薬の事があって、皆さん先に不安があり出費をおさえていると言っています。	
				レストラン	時期的なもので有る。	
				都市型ホテル	レストラン部門はややダウン。忘年会の感触も、安価、縮小傾向。	
				観光名所等	夏の長雨の影響で商品となる農作物が品不足。仕入価格高騰によるコスト増も発生（以上販売部門）。観光客の施設入込は逆に増加となったが、あくまでも屋内施設中心の結果であり、広く見れば決して良くはなかった。	
				旅行代理店	主力のつがるの価格の下落と、農繁期による農家の消費の減。相変わらずのリストラ、倒産等による活気のなさ。	
				ガソリンスタンド	最近、身近な知人の自己破産が数件あった。	
				設計事務所	物件が少ない。又、いままで算入していない業者が新しく算入してきている。	
				県南	コンビニ	1) 求人（自店において）に対し、希望者数がかなり多い。現在の未就職者数が増大傾向にあると言う事＝不況状態。

やや悪くなっている	家計	県南	衣料専門店	気候が例年に比べ暖かいので、秋物衣料の売り上げはまいちの感じがする。
			一般小売店	マスコミ関係から今年の年末ボーナス予想が発表され、ほとんどがマイナス予想である。
			商店街	大型店、専門店とも売上が伸び悩み、利幅が少なくなっているから。
			卸売業	依然としてデフレであり、売上がのびず、利益がとれない。景気対策が見えてこない(悲観的な話が多い)。
			一般飲食店	自店においては変わらないが、周囲の様子を見た限りでは、「いつになったら」という声が多い。今の状態では、例えば経済が多少良くなったからといっても、消費レベルは上がらない、と思わざるを得ないのでは。
		下北	スーパー	閉店する所が多くなっている。商品の動きが悪くなって来た。
			一般小売店	給料日前と後での売り上げが明らかに違う。以前は、特売時にはそれなりの売り上げを作っていたが、8月以降は15日~20日間の売り上げの落ち込みが激しい。
			都市型ホテル	前年に比べ、宴会利用が減少している。
			タクシー	昼も夜も近距離客の減少が目立つ。日報の回数が20~25回くらいと非常に少なくなっていることなどから考えられる。
		企業	東青	経営コンサルタント
	津軽			飲料品製造
	津軽		電気機械製造	7~9月、景気は横ばいだったと思うが、下期に入り、10月以降良くなる要因が全くない。
			建設	新規の受注が少ない。官公庁の発注量が少ない。
			経営コンサルタント	依然として過半数の企業の売上が3ヶ月前と比べて下がっており、特に飲食業と建設業が著しい。
			県南	紙・パルプ製造
経営コンサルタント	話題が景気の事が多くなり、悪い、悪いだけで良い話は全然無い。ますます活力が感じられなくなっている。			
広告・デザイン	前期の月売上高を比べ、30%以上のマイナスがある。			
雇用	東青		新聞社求人広告	不動産、住宅設備関連の広告が良くない。
悪くなっている	家計		東青	レストラン
		スナック		昨年の八月、九月と今年(八月、九月)を比較して、特に悪い。
		タクシー		タクシー業界比較的稼働の良いと言われる8月~9月(ねぶた、秋の観光)の動きが非常に低迷。10月、11月の観光予約等皆無に等しい。又、一般の利用も右下がりが続いている。
		津軽	スナック	お客様が店に来店する回数が少なくなっています。

悪くなっている	家計	津軽	コンビニ	周辺事業所の閉鎖が目立つ。
		県南	タクシー	我が市は農業が主体ですので、今年の春からの異常気候、夏の長雨、秋になってやれやれと思っていたら、21号台風によって作物が倒伏。農家が悪ければ、市内の景気は良くなれないと考える。
			美容院	以前は雰囲気として感じられたが、現在は数字等で実感として感じられる。
		下北	スナック	建設業の不振がひどい。
			ガソリンスタンド	前回回答しました倒産会社予想が全て倒産となりました。建設業2件、不動産業1件、原因は銀行の貸出しぶり。今後も関連会社倒産あると思われます。
	企業	県南	食料品製造	売上、利益共、この3ヶ月は前年、前々年と比較しても、とても悪い。特に9月はひどい。

(2) 景気の先行き判断理由

先行き	分野	地区	業種	理由
やや良くなっている	家計	津軽	卸売業	ある程度、今後の仕事に対する見通しがつくと思われる為。
			レストラン	年末に向け、現在より売上は上昇すると思う。
			観光型ホテル・旅館	3ヵ月後はお正月なので、やや良くなると思います。
		県南	一般小売店	12月の新幹線開通で、一時的にしても、来訪者は増加し、飲食関係を中心にプラス面に動くと思われる。
			スナック	新幹線開業、忘年会、新年会に期待している。
			パチンコ	希望的観測であるが、減税による消費の拡大、金融機関の不良債権等、政策に少し期待が持てる。
			住宅建設販売	東北新幹線八戸駅開業後の波及効果を期待したい。
変わらない	家計	東青	衣料専門店	一般消費者の生活環境が、短期間に経済変化による影響を受ける要素がない、と思うからです。
			家電量販店	雇用状況が厳しい。
			商店街	1. 明るい話題が出てこない。最近の経済講演会でも、デフレが当分続く見方が強いようです。それに、公務員の給料ダウンのニュースもあり、辛抱体制に入っているようです。
			卸売業	先行き不透明。
			一般飲食店	例年、鍋を始めると変動が少ない。
			スナック	良くなるように期待して、それなりに頑張るつもり（年末に向けての動きを見るつもりです）。
			観光型ホテル・旅館	10月の予約状況があまりよくないし、直前予約が多くなっているため予測が不明のため。
			都市型ホテル	金融情勢の厳しさが一段と強化されるものと思われ、景気上向きの素材が少な過ぎる。さらに競争激化による収益上の問題もあり、相当の努力を前提に、変わらないとした。
			観光名所等	なにも、良くなる材料がないように考えます。具体的な良くなる材料が打ち出され、しばらくしてから良くなるのでは、今の所なにも良くはならないと思います。
			旅行代理店	単価が下がり、件数をこなしても、売上高、利益が追いつかない。多少の明るさに見えるものの、総体的な状況は変化ないと思う。
			美容院	前年比から見ると、同じだと思う。12月の売り上げで左右すると思う。
			ガソリンスタンド	政治の景気対策に期待がもてないから。
			設計事務所	この先の季節をむかえるにあたって厳しさに変化はなし。
			住宅建設販売	お客様は長期のローンを利用する事になるので、現在の雇用不安、今後の景気が問題となっております。

変わらない	家計	津軽	百貨店	株価低迷、雇用不振等、悪くなる要素があっても、明るい話題がなにもない。
			スーパー	いろいろなイベントとか手法を変化させ対応しているが、消費者はある程度のお金しか使わない。
			衣料専門店	・無登録農薬によるリンゴ価格の低調考えられる。 ・日銀短観による、景気回復の勢い鈍るとの予想。
			商店街	・国の景気対策において好転の兆しが不透明である。 ・銀行の資産査定 of 厳格化によりデフレが加速し、失業者が増加する懸念がある。
			スナック	農家の農薬問題でりんごの値段も安くなってくると思います。私達サービス業にとって一番影響があると思います。
			設計事務所	良情報がない。
	県南		百貨店	新幹線八戸駅開業（12/1）による、地域経済への影響をどのように判断するかによると考えますが、一時的に、開業記念セールやイベント等で景気は盛り上がり上がると思うが長続きはしないと考え、景気に変化はないと判断します。
			一般飲食店	変わらないというのは、新幹線効果があるかもという訳で、現況では更に悪くなるという判断をしています。というのも、まだまだ政・財界の「うみ」が出しきっていない。
			観光型ホテル・旅館	不良債権の整理等のニュースを聞くと、我社も対象になりうるし、すぐには景気が良くなるとは思えない。
			設計事務所	政府の景気対策が見えて来ない。
	下北		スーパー	3か月先に景気が良くなっているとは思えない。
			レストラン	忘・新年会の予約を期待し、景気の回復を願うしかない。
			タクシー	12月～1月に入ると、観光客はゼロに等しく、中小企業のボーナスなど、厳しい状況が続くそうで、良くなる期待が持てない。
	企業	東青	食料品製造	景気が良くなるような情報がほとんどなく、サラリーマンにとっても増税に結びつく情報ばかりで、希望もてない。
			広告・デザイン	アメリカ経済の状況等。
		津軽	広告・デザイン	依然として悪い状況は回復できないのでは。公共工事の激減、発注単価の低価格化、個人消費の低迷等、不安材料はたくさん有。経済に元気なし。
		県南	飲料品製造	料飲筋、以前は客単価の低下が問題であったが、最近は客が来ないことが問題となっている様。
			紙・パルプ製造	年末商戦や新幹線の開通もあり、政治、経済の劇的な変動がなければ、現状維持されるものと思われる。
			電気機械製造	お客様の利益を考え、最も安く、最も性能の良い、価格と機能のバランスが大切なのに、今の日本国内は、価格さえ良ければあとは何でも良い、という考えがはびこっている。これは半年や1年ではなおらない。
		雇用	東青	人材派遣
新聞社求人広告				広告に関しては、現在もギリギリの線で出稿している状態で、増加につながる要素が少ない。

変わらない	雇用	東青	求人情報誌	3か月程度の期間で良くなる要素が無い。
		津軽	新聞社求人広告	新幹線八戸駅開業に伴う経済効果を期待したいが、津軽で意欲的に商品交流を図るなどの動き少ない。様子見か。JRで人が、物が少し動くようだと消費欲につながるかも。
		県南	人材派遣	どの企業も、まだまだ模索中なので、結果が出て、街(市)全体に景気の良さを影響させるまでにはかなりの時間が必要に思う。
			新聞社求人広告	倒産の話題ばかりで、個人消費の回復の兆しもなく、県南地区の失業率は最悪のまま。新聞の求人広告は低水準のまま。
やや悪くなっている	家計	東青	百貨店	衣料品の動きが良くない。
		パチンコ	株価の動向が非常に悪い方向で、金融関係の立直しがどこまで可能か？	
		競輪場	車券売上げが増える要素が見あたらない。	
		津軽	家電量販店	好転する要素がない。
		一般小売店	売上げのカード売上の比率が高くなっている。ということは、先の売上を喰っているという感じがある。株式市場も安値更新している。	
		一般飲食店	りんご農家の売上げによって、津軽の今後の経済が変わってくると思われるが、それとは関係なく、先をよめないで、財布のひもはかたいと思う。	
		都市型ホテル	昨年に続き、りんごの価格低迷は大きい。	
		観光名所等	冬を迎えることで、お客様の出足が鈍くなるとともに、冬の賞与が減少傾向と報じられていることから、観光を含めた余暇活動への影響が懸念される。	
		旅行代理店	国の政策による中小企業の経営の不安定化、新幹線開業による津軽への経済効果の疑問(新幹線とは関係なく、明るい材料が見当たらない)。	
		住宅建設販売	政府による財政再建の手立てが見えてこない。逆に政府竹中大臣による景気悪化を煽ってる発言が平気で発表されている状態。日経平均8,500円をそのまま手をこまねいているようでは、景気回復しばらく期待出来ない。	
		県南	コンビニ	1)現状の株価の下落、大手企業の問題・リストラ。TV、雑誌、メディア等でも知られる通り、大規模な雇用対策を実施しない限り、景気回復は見込めない。
		スーパー	アメリカのバブル景気も終わり、低迷期に入ると思う。日本の株価が好転するまで、あと数年かかるだろう。見通しは暗い。	
		乗用車販売	アメリカがイラク攻撃を始めたら、景気は間違いなく落ち込む事が予想されるから。株価も低いし、銀行へ公的資金を注入しても弊害が有る。	
		商店街	賃金低下、リストラ等、消費者心理が冷えているから。	
		旅行代理店	バリ島テロ事件や、アメリカのイラク攻撃の進展しだいでは、旅行手控え等の影響が懸念される。	
		タクシー	やはり農業がダメージを受けている事と、一家の世帯主が老後と将来に不安を持っている様に思う。	



やや悪くなっている	家計	県南	ガソリンスタンド	製造業の海外移転。農漁業の不振。
		下北	一般小売店	円安、株価の下落。政府は景気D Iを据え置いたが、明らかに景況感は悪化していると思われる。自店もそうだが、既存店ベースの売上は、9月、10月皆悪化している。
			ガソリンスタンド	建設業の公共工事は半減しており、関連建設業苦しさのあまり両立手形振り出しのものがあり、今後事故発生となります。ガソリンスタンドも、銀行借入不可能となり、閉店するか倒産も出るものと思われます。
	企業	東青	経営コンサルタント	内閣改造後の経済対策への期待感もあるが、まず不良債権処理が優先されると思われる。したがって、企業倒産および失業者増は不可避。デフレ圧力が一層強まる可能性がある。
		津軽	飲料品製造	・不良債権の処理が進展するにつれ、失業者が増え、消費が抑制され、景気が低迷する。 ・無登録農薬の問題で、りんご市況に影響を受ける。
			電気機械製造	構造改革の遅れ、進まぬ不良債権処理、急激な株価の下落など、大きな問題が残ったままだと思うから。
			建設	新規の受注が少ない。官公庁の発注量が少ない。
			経営コンサルタント	小売業及び卸売業の一部の企業は売上が伸びるが、全体として過半数の企業が売上低下と予想される。
		県南	食料品製造	経済失政による経済の停滞。政府による問題先送り体質等により、生活防衛姿勢が常態化して、消費マインドに火がつかない。
			建設	地方自治体の財政悪化が顕著で、発注増が見込める状況にない。また、金融機関の不良債権処理加速の民間発注への影響と業界に及ぼす影響が心配される。
			経営コンサルタント	政府の施策、外国（米国、ドイツなど）も悪くなっている影響を考え、又、新しい産業が興る見込みがないから。
			広告・デザイン	通常見込める数字が、今後3か月、予定がない。
		下北	食料品製造	国の銀行に対する政策が不透明。
	悪くなっている	家計	東青	スーパー
一般小売店			明るい状況なし。	
レストラン			町全体を見ても活気がない（お客さんが町に出ていない）。そのことで、お金が回っていったないと思う。その割に、新店舗が出来ているので、全体的に、1店に入店する割合が減少しているのでは。	
タクシー			賞与削減等、社会に出まわる”金”が少なくなると考えられる。全ての事項について、節約が進む。	
津軽		コンビニ	周辺事業所の閉鎖が目立つことから、周辺購買人口の減少があること。そのことによって、全体としては消費支出、可処分所得の減少につながる事が懸念されること。りんご価格の先行不透明感。	
		ガソリンスタンド	政府の景気・経済対策の遅れ。	
県南		衣料専門店	不良債権処理問題で、デフレ対策をどうするか、方向を確かに示さないと景気は良くなれないと思う。	

悪くなっている	家計	県南	卸売業	内閣改造により国の政策が変わる。不良債権処理だけが進む可能性があり、具体的な景気対策が出ていない。
			レストラン	竹中金融経済相で銀行の不良債権の処理と経済回復が出来るのか不安である。私達のような店では銀行が頼りである。もし政策に失敗した場合、どのような責任がとれるのか。
			美容院	政府等の政策が不透明。実感がわからない。
		下北	一般飲食店	内閣改造で株も安くなったみたいですし、それから今の状態ではよくなる見通しは何もありません。一生懸命頑張って、負けてはいられないと思っはいますが、どうにも、人出がないので困っています。
			スナック	各業種とも倒産件数の増加。
	企業	東青	建設	政府主導で不良債権処理に拍車がかかれば、大混乱は必至。もともと財務体質の弱い県内企業はひとたまりも無い。自助、自立の精神で改善、改革し、新しい分野を開拓できる企業だけが生き残る。

## 5 . 参考

### ( 参考 1 ) 景気の現状判断

D I

n=95

	平成13年	平成14年			
	10月	1月	4月	7月	10月
合 計	13.1	13.7	16.8	21.7	20.5
家計関連	14.2	16.7	18.3	21.9	23.2
小売	13.3	17.9	19.2	20.7	25.9
飲食	9.1	18.8	20.8	25.0	20.8
サービス	15.7	16.3	17.4	21.3	22.1
住宅	20.8	8.3	12.5	25.0	20.8
企業関連	6.9	4.2	11.1	15.3	9.7
雇用関連	17.9	7.1	16.7	35.7	20.8

回答別構成比(%)

	良い	やや良い	どちらとも 言えない	やや悪い	悪い
平成13年10月	1.0	0.0	7.1	34.3	57.6
平成14年 1月	0.0	2.1	8.2	32.0	57.7
平成14年 4月	1.1	0.0	8.8	45.1	45.1
平成14年 7月	0.0	1.0	25.5	32.7	40.8
平成14年10月	0.0	4.2	11.6	46.3	37.9

地区別D I

	平成13年	平成14年			
	10月	1月	4月	7月	10月
合 計	13.1	13.7	16.8	21.7	20.5
東青	13.3	10.8	15.7	21.7	23.3
津軽	15.8	17.2	18.3	25.0	20.7
県南	10.8	12.9	13.4	19.0	17.0
下北	11.1	13.9	25.0	19.4	22.2

(参考2) その他自由意見

分野	地区	業種	自由意見
家計	東青	コンビニ	友人・知人も給料が下がったとか、リストラにあったとか、暗いニュースが多い。3ヶ月前は、これから夏をむかえるということもあり、期待感もあったらしいが、この時期は、冬に向かって、何かにお金がかかるらしく(ストーブとか、衣類とか)、サイフのヒモがかたくなっているようだ。
		スナック	不景気状態なのに、不祥事事件が続き、ますます皆様自粛するのでは？
		レストラン	東京との情報のやりとりをしているが、地方から見れば、人口が多い分、やりやすいと思いがちだが、かえって東京のほうが難しい、と言われた。
		一般飲食店	早く景気が上向いて欲しいと思います。
		卸売業	あまり意味の無い調査のように思えますが？
		観光型ホテル・旅館	青森県向けの旅行企画が多くなっているが、県の企画の中に浅虫方面があまりないのが不満。
		商店街	最近、柳町に空き地・空き店舗の紹介が、事務局に多い。実際に開店が目立っております。新町に比べ、地価安感もあり、土地売買交渉が水面下で動いております。パラソルロードすごい。
		都市型ホテル	不良債権問題と景気のコネ入れとの関連が不透明すぎる。不安が先にたち、どうしても自己防衛的になる。
		美容院	調査結果に表れている数字よりも、現実には低いような気がする。企業側から見ると、賃金と売り上げとの関係にずれが出ている。
	津軽	ガソリンスタンド	ガソリンスタンドを運営しているが、規制緩和により新設が増え、現在は飽和状態にあり、同業者全体が苦しい。
		レストラン	閉店する同業者が目立って来た。
		一般小売店	去年の7月あたりから少しずつ売上がのびてきているのが、大手百貨店の倒産によると考えていたが、同業者の売上等から推測して、どうも当社の主力取扱メーカーののび(全国的に見て)によるものと思える。二極分化がすすんでいると思われます。
		卸売業	倒産企業が多い中で、自己破産申請が増加している事。
		家電量販店	9月度の暖房器の歳時を2回行ったが、結果は前年並みとまずまずの結果でした。どうしても買う必要がなければ、買ってくれない(商品)消費行動と思われる。
		観光型ホテル・旅館	最近県内でも、公務員給料のカットが見られますが、そうなるともますます景気が低迷し、そのしわよせが私達サービス業にも影響していると思われます。
		住宅建設販売	デフレデフレと安売り合戦をしている中で、女性用高級化粧品だけが売上がどんどん伸びているとは一体どういうことを意味してるか。それだけ、未だ未だ余裕あると(庶民の財布)ということか。東証ダウとうとう9千円を切り、銀行冬の時代に突入。公的資金再投入で生き残る銀行は、某都市銀行だけか。益々タンス預金増えそう。
		商店街	景気回復策の早急なる実施を国に強く要望して欲しい。

家計	津軽	設計事務所	県、国の行政が、国民県民のスタンスになっていない。個人の保身の為に行動している様にうつります。
		都市型ホテル	どの業種も来年は生き残りをかけた勝負の年ではないか。手抜きは許されない。
		美容院	当分かわらないのでは？
		旅行代理店	求人倍率の低さ、小企業（個人）の倒産、閉鎖など、年を越せない企業が多く出ないことを祈ります。
	県南	スーパー	今、日本に明るい話題が欲しいと思う。北朝鮮の問題にせよ、内閣改造にせよ、日々の事件でも、先に希望が湧くような話題が少ないのは一番つらい。
		タクシー	改革によって、次から次へと、一人一人に痛みが多くなっていくので、成長なくして下落のみ、と言う感じですね。この痛み慣れるまでは、まだまだ景気はよくなると思う。又、新幹線が12月から八戸まで来ても、県内に入ってくる人よりも都会に出て行く方が多くなるのでは、と私事に考えさせられます。
		レストラン	私達レストランでも、何か企画物を出したり催しもの（南部千年祭やグルめぐり）があると、お客様が高いコース料理の食事をして下さる。又、このアンケート結果が後日送られてくるが、県全体の様子がよくわかり参考になります。
		一般飲食店	景気をきちんとしたものにするには、経営倫理の確立が必要と思うが、経営倫理についての質問もあっても良いと思うが。例えば、経営倫理についてどの様に感じておられますか。
		一般小売店	中心商店街（三日町）のクツ屋さん（2店舗）が倒産し、空屋が増えた。
		観光名所等	お客様は変わりなくありますが、買い物をする人はまあまあです。
		乗用車販売	デフレで商品の値段を上げる事が出来ない割には賃金が上昇している為に、経営状況が大変厳しいと得意様から云われ、代替、増車は当分の間見込めないという事である。
		美容院	お客様が少ない。PRしても反応がにぶい。青森県木村知事、なんとかしてくれ。
		百貨店	新幹線八戸駅開業に向けて、八戸市中心商店街の六日町から三日町までの一帯に飲食や物産で構成する屋台村が11月オープンに向けて進められている。これが話題になり集客につながれば、商店街の名物通りとしてやって行けると考える。
		旅行代理店	12月1日の新幹線八戸駅開業を控えているが、市内全般に燃えているという印象も薄い。
	下北	スーパー	仕事がないと言う声と、仕事があっても時間と期間が短いと言う声有り。
		タクシー	12月開業の新幹線八戸駅からの下北への乗り入れでの期待感や宣伝等の盛り上がりが少ないと思う。
		レストラン	時間短縮の職場が増えたのか、昼夜掛け持ちで働いている主婦が見受けられる。又、若年者の職がない。
		一般飲食店	都会の方では、何か良い方向にむいている事業もあるとききますが、青森県の方は、やはり、良い所もあるのでしょうか。見通しはたちません。ますます悪くなるのではないかと心配しております。
	企業	東青	建設
食料品製造			青森県の求人倍率が全国最低ランクとの事が報道されましたが、来年春の若者の失業者増加が心配です。

企業	津軽	経営コンサルタント	今後の政府の不良債権処理の状況と本県産農作物販売の好不調が、本県企業に大きく影響を及ぼすと考えられる。
		広告・デザイン	先日の内閣改造において、改革ばかりを大声で言い、経済回復を目指した発言、行動はなし。株価も即時反応し下落、この先全く不安。同業者の全国組織においては、昨年から更に脱会する会社が増えている。
		電気機械製造	地銀はそうでもないが、都銀の貸し渋りが強まりつつあるような気がする。
	県南	経営コンサルタント	デフレスパイラルから抜ける政策が欲しい。インフレ率でも設定して、目標を掲げたらどうか？
		広告・デザイン	この状況においても、中小企業に対する支援的な対策が不十分どころか、条件がさらに難しくなっている。
		紙・パルプ製造	ガソリン給油所のセルフ化が更に進んでいる模様。
		食料品製造	政治家？政治屋！の問題解決能力の無さにあ然としている。何をしたら経済が立ち直れるかわからない政治家の政治ごっこが問題。
		電気機械製造	逆に、海外向けの方が、コストは厳しいが、その他の部分で融通がきくので、結果として良い品物を安く作って納めている。日本企業は価格にばかり目が行って、悪い品物をつかんでいる。
	雇用	東青	新聞社求人広告
人材派遣			派遣会社であるが、主力が金融機関であり、派遣社員数は横這い。
津軽		新聞社求人広告	アジア大会への期待も市民らにない。開催地では、宿泊などに期待あるが、大きな活力にならないとみている。
県南		新聞社求人広告	水産関係の大型倒産で、水産業界も先行不安が増大している。
		人材派遣	全部とは言わないが、八戸の求職者は意識が低い。半年バイトをして、失業保険をもらう生活が都合良い、と考えている人が、あまりにも多い。このような意識の低さが、街全体をよどませていると思う。